

上峰町 オーガニックビレッジ宣言



上峰町長 武廣 勇平

本地域は北部九州の中央に位置し、脊振山系に源を発した寒水川、切通川などが、なだらかな丘陵地帯と田園地帯を流れて筑後川に注ぐ、豊かな筑紫平野の穀倉地帯の一部として重要な役割を担っており、水稻を中心に施設園芸や露地野菜等の農業経営が行われています。

また、人々が住みやすい環境に恵まれた地域であり、良好な自然環境を生かした生活圏として注目されています。

近年、健康な食生活や生産・消費の活発化の動きの中、本地域ではSDGsや国の「みどりの食料システム戦略」に基づき、有機農業の生産技術の確立と普及、新規就農者の育成・確保・定着、さらに販路の開発等、生産と消費が連携した「環境に優しい持続可能な有機農業のまち」を目指す取り組みを進めています。

恵まれた自然環境を守りながら、地域が発展を続けていくことは、未来ある子供たちのために必要不可欠なことです。また「食」において中心的な役割である農産物を、持続可能な有機農業の選択肢を増やすことで、新たな担い手にも希望を持ってもらえるよう、「人」「食」「自然」に優しい有機農業を推進していくことを目指し、私たちはここに「オーガニックビレッジ」を宣言します。

令和7年4月28日

上峰町長